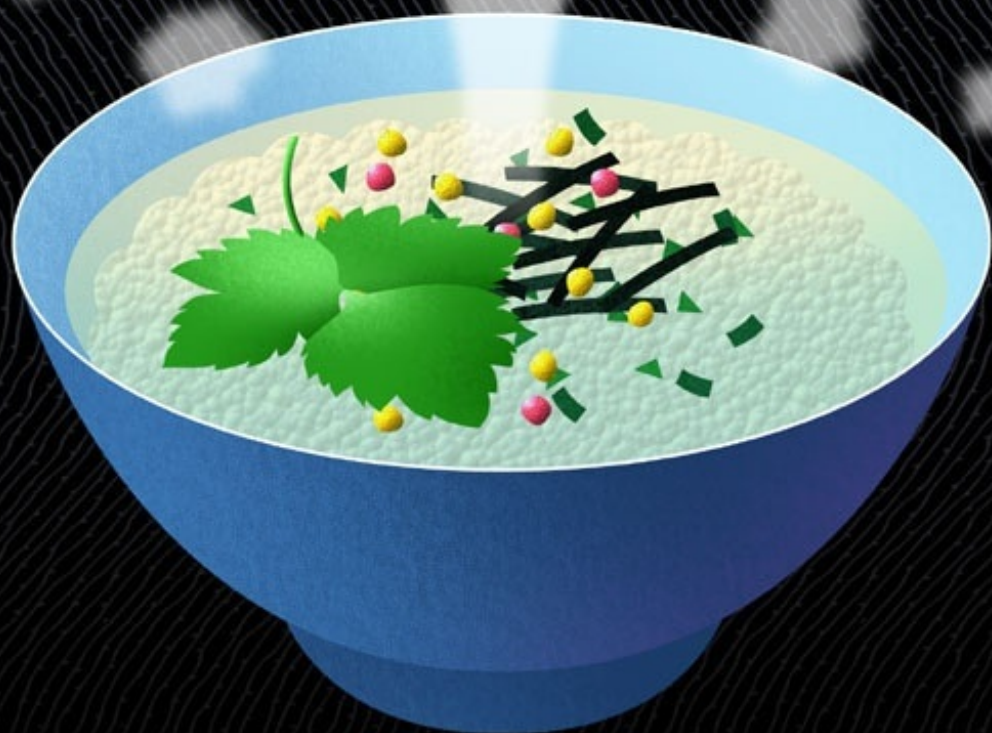


よもぎばあさんの

よう かい ちゃ づ

# 妖怪茶漬け

ぎゃく ばん  
逆ページ版



作 そのやまがりん 絵 さこやん



ここは最後の  
ページじゃよ。  
順番を逆に  
並べてあるから、  
反対側のページから  
読んでおくれ。









ケタケタケタ



さあ、今回はここまでじゃよ。  
また妖怪話を聞きたくなったら、  
いつでも遊びに来ていいぞ。  
とびっきりの妖怪茶漬けを  
用意して、待ってあるからの。  
ほっほっほっほっ。

なにせ、人をおどろかすことしか とりえのない妖怪じゃから、

おどろかす人間は ようじんして選ぶんじゃ。

気の強い人間なら、こぶしをふりあげて一つ目小僧に むかっていくかもしれん。

そしたら、一つ目小僧のほうが おどろいて、

腰をぬかしてしまうからのう。

おぬしは 妖怪に 立ち向かっていくくらいの 勇気はもつとるか？

何もせんと分かつとつても、いきなり 一つ目小僧が現れたら、

おぬしは きっと、腰をぬかすじゃろのう。

なに？ 違うのか？

本当は 怖くて仕方がなくせに、強がりばかり 言つとるのではないのか？

ウソをついても すぐにわかるぞ。

どうせ ひとりで トイレにも 行けんのじゃる。

そうやって びくびくしとつたら、そのうち一つ目小僧が 感づいて、

近々 遊びにいくかもしれんなあ。 ほっほっほっほっ。



くるりと ぶりかえる。

もちろん、

顔には目が一つしか

ついとらんから、おどろいた住人は、

腰をぬかして ひっくりかえる

とついでにめいしや。



やがて、物音ものおとに気がついた住人じゅうにんが  
部屋へやに入ると 見知らぬ小僧こぞうがあるもんだから、  
「こら！なにをしている！」と、  
よほどの のんき者ものじゃないかぎり、  
こんなふうには  
しかりつけるじゃろ。

すると一っ目小僧ひとめこぞうは、  
「だまっっているー！」  
と言いながら、





このいたずらに あきてしまうよ、

今度はあっちこっち、人の家をのぞきまわって  
いたずらできそうなところを さがすんじゃ。

ふだん、強がりばかり 言うとる者にかぎって

臆病じゃったりするもんじゃが、

一つ目小僧はの、そういう人間が住んどる家を

ピタリと さがしあてるんじゃよ。

手頃な家を見つけると、

まず だれもあらん部屋に のびこんでの、

入口に背をおけて

置物をガタガタ動かしたり、

何か食い物があったら

ムシヤムシヤと食いちらかしたり…、

などと、しようもない 悪さをはじめるんじゃ。







にはいめ  
二杯目●目玉ギョロギョロ  
一つ目小僧  
(ひとつめこぞう)



一つ目小僧は その名のとおり、

おきたまごのような まあるい顔に、大きな目玉が ひとつだけついている  
ぶきみな妖怪なんじゃが、いたずらが大好きな妖怪でう。

夜道を ひとりで歩いてる人間を みつけては、

いきなり通せんぼして おどろかすんじゃ。

べつに 人をとって食うたりせんのだじゃが、わき道から

急に飛び出してくるもんじゃから、ほとんどの人間が  
腰をぬかしてしまうんじゃよ。

声にもならん ひめいをあげて、あたふたしてる人間をみながらの、

一つ目小僧は長い舌を ペロリと出して ケタケタ笑いながら去っていくんじゃ。



すると、河童も真似をして

頭をさげるんじやが、

河童の頭の皿には

水が入ってあって、

この水が無くなると、

河童は力が抜けてしまふんじや。

うっかり おじぎをして、

皿の水を こぼしてしまふんで、

河童は あわてて、

水の中へ ひきかえす。

そのスキに 逃げればいいのじや。

こんなふうじやから、

河童というのは、なんだか

おもしろい妖怪に思えるんじやろうのう。





でももの、もし、おぬしが河童かっぱに 相撲すもうをせがまれても、心配しんぱいすることはないぞ。  
無事ぶじに逃げにられる、とっておきの 方法ほうほうがあるんじや。  
それはの、河童かっぱに出会でうたら、ていねいに おじぎをするんじやよ。





河童かっぱに相撲すもうをせがまれたら、  
結局けつぎょく、ひどい目めに  
あってしまうというわけじゃ。



河童かっぱと相撲すもうを取とった人間にんげんも、

相撲すもうを取とった後あとに、

たいへんな目めに あうんじゃ。

たとえ取とるのを断ことわっても、

「取とらぬなら、おまえに

とりついて、呪のろい殺ころしてやるぞ！」

と言いうて おどすもんだから、

しかたなく相手あいてをしてやると、

河童かっぱはな、負まけたら くやしがつて、

勝かつたら得意とくいげに、何度なんども何度なんども取とりたがるんじゃ。

結局けつぎよく、その人間にんげんはな、河童かっぱが あきるまで 相撲すもうの相手あいてを

させられるはめに なるんじゃが…、しかしの、その後あとが問題もんだいなんじゃ。

ようやく相撲すもうを取とり終おええて、ほっとして家いえにもどったとたん、

原因げんいん不明ふめいの病気びょうきにかかって、何日なんにちも寝ね込んでしまっうんじゃ。





こんなふうにはなすと、

河童かわつぼというのは 人ひとなつつこくって、

なんだか おもしろい妖怪ようかいのように

思うかもしれないが、本当ほんとうはの、とても恐おそろしい妖怪ようかいなんじゃ。

陸りくの上うえでは たいした力ちからは出だせんのに、水みずの中なかじゃと、

とても強つよい力ちからを出だしよる。

じゃから、例たとえばの、馬うまや牛うしを

水みずの中なかに ひきずりこんで おぼれさせたり、

泳およいでいる人間にんげんのキモ…、キモというのは 腹はらの中なかにある

肝かんぞうのことじゃが、そのキモを ひっこぬいて、食くうたりするんじゃよ。











一杯目●取らねばとらへんぞー！

# 河童 (かっぱ)



名前も姿も、これほど有名な妖怪は、ほかには あらん。

おぬしも 一度は 河童の話を 聞いたことがあるじゃろ。

昔はの、日本中の川や沼に 河童が すんでおったんじゃ。場所によって、  
少しずつ ちがう形をしておったが、頭の皿と とんがった口、背中の甲らに  
手足の水かき、これらは どの河童にも ついておった。

大好物がキュウリというのも、同じじゃったの。それから、どういうわけだが、  
ほとんどの河童が 相撲好きでう。背だけは・・・そうじゃな、ちようど  
おぬしと同じくらいか、もつと小さいのも おったようじゃ。じゃがな、  
キュウリを食べるより、相撲が好きなものじゃから、自分の体よりも大きい  
大人の間を見つけては、相撲を取ってくれと せがんでおったんじゃ。





ほい、よもぎばあさんじゃよ。

妖怪話を聞きに来たのかい？

それじゃあ、

お茶漬でもごちそうしようかの。

天狗味、やまんば味、

味はいろいろとそろえてあるから、

好きなのを選んでいいぞ。

では、始めようかの。

食べながら、耳をかたむけておくれ。

ほっほっほっ。

